

【訃報】

『チャイルドヘルス』の編集顧問であり、連載「海外文献の紹介」をご執筆くださっていた榊原洋一 先生（お茶の水女子大学名誉教授）が2025年3月にご逝去されました。

榊原先生には、初代の編集委員の一人として、弊誌の立ち上げから携わっていただきました。また、連載「海外文献の紹介」は、創刊時より前号の2025年4月号まで、28年間という長い年月にわたりご執筆をいただいております。

ここで、榊原先生が編集委員を務められていた際にご執筆いただいた編集後記をご紹介します。

—「海外文献紹介」の欄をしばらく担当させていただいていますが、小児科学の雑誌に投稿される論文のなかに、育児に関するものが多いのに驚かされています。それに引き換え、日本の小児科学の雑誌はほとんどが基礎研究や疾患に関する論文です。もちろん育児についての論文は、小児保健の専門誌がありますから、そちらへ投稿すればいい、という状況があるのかもしれませんが、でも、質の高い育児に関する論文が、疾患や基礎研究の論文と肩をならべて掲載されているのを見ると、うらやましくなります。最近育児に関する研究論文をチャイルドヘルスに投稿される方が、少しずつですが増えてきました。「研究」論文は内容が堅く難しいというご意見もありますが、質の高い研究論文がたくさん投稿されることを期待しています。

（3巻8号，2000年）

この編集後記には、榊原先生の理念、そして『チャイルドヘルス』と読者の皆さまへの期待が込められていると思います。

謹んで哀悼の意を表しますとともに、これまでの先生の温かく大きなお力添えに深く感謝を申し上げます。

診断と治療社 編集部

榊原洋一 先生

- ・略歴：1951年東京生まれ。東京大学医学部医学科卒業。東京大学附属病院小児科，ワシントン大学小児神経研究部研究院，お茶の水女子大学子ども発達教育研究センター，同大学院人間文化創成科学研究科教授，同理事・副学長を経て，2017年よりお茶の水女子大学名誉教授。専門は小児科学，発達神経学，国際医療協力，育児学。発達障害研究の第一人者。

- ・弊社発行のおもな著書：

『エビデンスに基づく乳幼児保育・発達障害トピックス』2012年

『子どもの健康と安全 演習ノート 改訂第3版』2019年（編集協力）

『発達障害の診断と治療 ADHDとASD』2023年